

用事で行く人が多かゝり「み」と評した。

一行方不明者は2人、高台に

▽7607611山大①

古里思い1200万円寄付

女川一中同窓生ら募金の輪

古里を離れて暮らす女川一中の同窓生が設立した「女川に元気を送る会」(村井善郎会長)は2日、女川町を訪れ、集めた募金の目録を安住宣言町長に手渡した。同じく同窓生で、独自に寄付活動を

した和田京子さん(67)横須賀市在住も同様に目録を渡した。寄付は、女川に元気を送る会が905万8905円、和田さんは300万円で合わせると1200万円を超える。

村井会長は「震災の惨状を見るにつけ、女川人として居ても立ってもいられなかった。寄付には古里を思う熱い気持ちが詰まっている。復興のため、特に女川の子どもたちのために使ってほしい」と、募金に応じた一人一人の名簿を安住町長に見せながら話した。

和田さんは化粧品会社を経営しており、ポケッタマネーに加え、従業員、

やすい言葉で書く」などのポイントを教えてもらった後、感謝の気持ちを含め、それぞれの思いをつづった。その後「募金してくれてありがとう」「ドイツの人はすごい」など、手紙の内容を発表し合った。

手紙は、プロジェクト結(ゆい)を通して、ドイツの子どもたちに届ける。



女川一中同窓生が集めた募金目録を安住町長に手渡した村井会長(左から2人目)＝女川町災害対策本部

の思いを受け止め、大切にに使わせていただきませう」とお礼を述べた。

女川に元気を送る会は、1944年に同中を卒業し、現在は東京都多摩医療センターの副院長を務める村井会長(64)

安住町長は「みなさん仕事関係者からの善意を集めた。東京東村山市在住」

ら有志が動き掛けた。募金の輪は、インターネットなどを通じて広まり、全国各地に住む同窓生らが応じた。

生活関連情報

創業祭

●いしのまき農協の産直施設やもと四季菜館大塩店で9日午前9時から創業祭が開かれる。震災復興応援を兼ねて午前10時半からモロヘイヤ、インゲン、トマト、玉ネギ、ジャガイモ、キユウリの6品目を数量限定で50円均一で販売。1人4点まで購入できる。

草もちやみそおにぎりなどの模擬店も登場。同館メンバーによるスコップ三味線の演奏などで祭りムードを盛り上げる。

▽7627811医療法人陽気会網小医院①介護福祉士②石巻市長渡浜③59歳以下、1人④14万52000～18万円

▽7628211カネホ堀内組①土木作業員②石巻市渡波③59歳以下、2人④15万82000～22万60000円

▽7629511東洋ワイクセキクリティイ石巻営業所①警備スタッフ②石巻市新境町③18歳以上、10人④12万96000～13万39200円

▽7632911リアン①婦人服縫製②石巻市住吉町③不問、3人④11万7504～17万92800円

▽7633111コムネット①一般事務(本社) 震災特例専用人(3年既卒トリアル) ②東松島市矢本③30歳以下、1人④16万50000～19万50000円

▽7634711コムネット①一般事務(本社) ②東松島市矢本③30歳以下、1人④16万50000～19万50000円

▽7641111かつま接骨院①柔道整復師②石巻市伊原津③不問、1人④15万25万円

▽7642711かつま接骨院①柔道整復術補助②